

■ 12月の自立支援協議会報告

*相談支援部会 4日(金)

- ・ インテークシートの利用に関するまとめ
- ・ 児童の計画作成の状況把握について
- ・ グループワーク (感染防止と冬の前に準備や連携ができること
計画作成で確認したいこと
他の相談支援専門員に聞きたいこと)



*就労支援部会 16日(水)

- ・ 就労アセスメント検討委員会設置について
- ・ 生活介護を利用する希望者の実際について
- ・ 働くことについて (事業所より)
- ・ ジョブコーチ有資格者の調査について

*運営委員会 17日(木)

- ・ 生活介護を利用する希望者の実際について
- ・ 第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画に向けて
- ・ 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの検討の場について
- ・ 基幹センターのあり方検討会について
- ・ 諏訪圏域障がい者総合支援センターの評価委員の選出について

♣ 「キレル」はこころのSOS

～児童虐待防止と発達支援のために～

発達障害の二次障害の理解と興奮状態の子どもへの介入方法や支援者の燃え尽きを防ぐためのケアまで、児童精神科医の豊富な診療経験・研究に基づく、すぐに役立つ実践的な学習会です。

【日時】

支援者のみなさま向け 2月6日(土) 13:30～15:30

家族・地域のみなさま向け 2月20日(土) 13:30～15:30

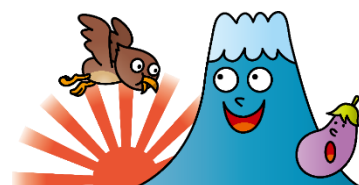
【会場】

オンライン開催

※諏訪市役所内などで聴講可能な会場も設けます。

【申込期間】

1月1日(金)～1月31日(日)



【問合せ】

諏訪市役所健康福祉こども課

諏訪市子ども家庭総合支援拠点 すわ☆あゆみステーション

TEL 0266-52-4141 (内線444)

FAX 0266-57-2246

Web開催 発達障がい支援フォーラム

♣ 発達障がい児が安心して大人になっていくために ～私たちができること～

【日時】

1月16日(土) 13:00～16:30

Web配信 (Youtubeライブストリーム)

※配信後1週間は見逃し視聴ができます。

【講演】

『思春期に大切にしたいこと』～自立?自律?～

本田秀夫氏 (信州大学医学部附属病院 子どものこころ診療部部長)

【シンポジウム】

『今までとこれからを語る』～それぞれの立場から～

本田秀夫氏 (信州大学医学部附属病院 子どものこころ診療部部長) [医療]

福岡 寿氏 (日本相談支援専門員協会 顧問) [福祉]

高山和浩氏 (長野県飯山養護学校 校長) [教育]

【申込み】

下記URLよりWEBフォームにてお申込みください。

<https://forms.gle/BJVwhnQwffHaENnY8>

お申込み完了のページに当日の配信URLを掲載いたします。

【参加費】

無料

【主催】

北信地域障がい福祉自立支援協議会 そだちネットワーク部会

【問合せ】

発達障がい支援フォーラム実行委員会 事務局

北信圏域障害者総合相談支援センター ぱれっと

TEL 0269-23-3525

FAX 0269-23-3521



Web開催 発達障がい児が安心して大人になっていくために ～私たちができること～

講演 NHK 「ドクターズ」仕事お披露目 出演 本田秀夫氏 信州大学医学部附属病院 子どものこころ診療部部長

『思春期に大切にしたいこと』～自立?自律?～

2021年 1月16日(土) 13:00～16:30 Web配信 (Youtubeライブストリーム) ※配信後1週間は見逃し視聴ができます

シンポジウム 『今までとこれからを語る』～それぞれの立場から～ 本田秀夫氏 [医療] 福岡 寿氏 [福祉] 高山和浩氏 [教育]

★ 下記URLよりお申込みください。 WEBフォームにてお申し込みください。お申込み完了のページに当日の配信URLを掲載いたします。

参加無料

主催：北信地域障がい福祉自立支援協議会 発達障がいフォーラム実行委員会
協賛：北信圏域障害者総合相談支援センター ぱれっと
北信地域障害者総合相談支援センター ぱれっと
〒0269-23-3525 FAX: 0269-23-3521

♣ ガレージとーく うつ病で、語る、つながるミーティング

『ガレージとーく』ってどんなところ？

「ピアサポート」とは、「仲間」という意味のピアと「支える」を意味するサポートを合わせた言葉で、同じ病気の人などが課題や悩みを共有し、支え合う取り組みです。『ガレージとーく』は、うつ

病の当事者を対象としたピアサポートの場です。ミーティングでは当事者同士が集まって、悩んでいること、苦しんでいることなどを話します。周りの人にはなかなか理解してもらえない「生きづらさ」や「心のモヤモヤ」を共有し支え合うことで、繋がりや癒しを感じてみませんか？

【日時】

1月17日(日) 13:30~16:30

【会場】

塩尻市市民交流センターえんぱーく 会議室202

【参加対象】

診断や疾患に関わらず、うつ症状のある方

【定員】

10名(申込先着順で定員になり次第締め切ります)

【参加費】

500円(会場費・運営費として)

【申込み】

電話・メール・申込みフォームにて

<https://kokucheese.com/event/index/605527/>

任意団体NPO うつ리카バリーエンジン

TEL 090-4823-7494 (代表:長谷川)

MAIL garagetalk@u2recovery.org

HP <https://u2recovery.org>

日中は電話に出られないことが多いので、留守番電話もしくはメールにてご連絡ください



非行・犯罪行為に至った知的障害者を支援し続ける人のための実践者研修会

♣ 福祉と医療の連携—精神科医療とのつながり方—

【基調講演】

福祉と医療の連携—精神科医療とのつながり方— (仮)

東京医科大学精神医学分野 准教授 梶屋二郎氏

開催方式: オンデマンド配信

配信期間: 1月20日(水)~2月3日(水)

【鼎談】

東京医科大学精神医学分野 准教授 梶屋二郎氏

立命館大学法学部 教授 森久智江氏

山口県立大学社会福祉学部 教授 水藤昌彦氏

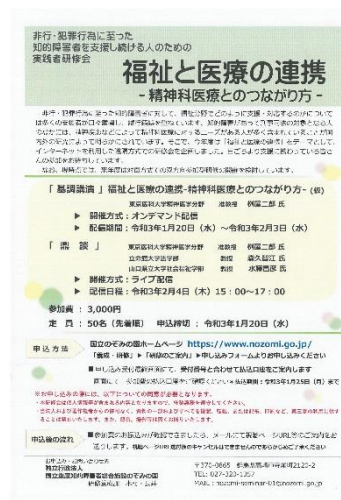
開催方式: ライブ配信

配信日程: 2月4日(木) 15:00~17:00

【参加費】

3,000円

【定員】



50名（先着順）

【申込み締切】

1月20日（水）

【申込み方法】

国立のぞみ園ホームページ <https://www.nozomi.go.jp/>

*払込期間：1月25日（月）まで

第1回国立のぞみの園セミナー2020

♣ 障害のある人の健康診断 ～幼児期から必要なこと～

予防に勝る治療なし

病気は、“かかったら治す”ものではなく、“かからないようにする”ことが大切です。

本セミナーではこの言葉の意味を、知的・身体・発達障害者の健康診断や診察を担当されている医師、看護師、研究者の皆さんからお伝えするとともに、知的・身体・発達障害者に対する最新の診療情報についてもお伝えします。

【開催方式】

オンデマンド配信

【配信期間】

1月18日（月）～2月26日（金）

【受講料】

1,000円 書籍「健康診断」付
セミナー資料はダウンロードとなります

【申込期日】

2月10日（水）

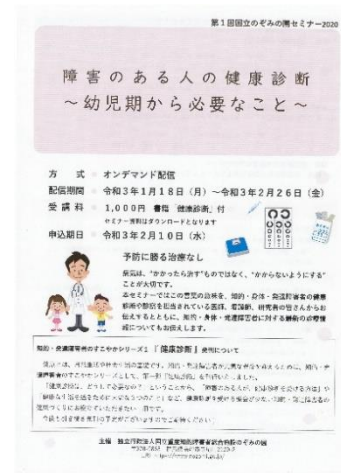
【主催】

独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園
〒370-0865 群馬県高崎市寺尾町2120-2

【受講申込み】

国立のぞみの園ホームページ <https://www.nozomi.go.jp/>

「養成・研修」▶「研修のご案内」▶「国立のぞみの園セミナー 障害のある人の健康診断」
申込みフォームよりお申込みください



第2回国立のぞみの園セミナー2020

♣ 認知症を発症した知的障害者への支援について考える

【開催方式】

オンデマンド配信

【配信期間】

2月1日（月）～3月31日（水）

【申込期日】

3月10日(水)

【参加費】

1,000円(資料代として ※資料はダウンロードとなります)

〈講義〉

高齢領域における認知症支援と研究の現状 30分

講師 公益財団法人東京都医学総合研究所

社会健康医学研究センター センター長 西田淳志氏

〈講義〉

知的障害領域における認知症支援と研究の現状 30分

講師 社会福祉法人旭川荘 旭川荘総合研究所 副所長 桑野良三氏

〈実践報告〉

認知症及び認知症が疑われる知的障害者に有効な支援とは

-ライフストーリーワークの実践をとおして- 30分

報告者 国立のぞみの園認知症ケアチーム

【受講申込み】

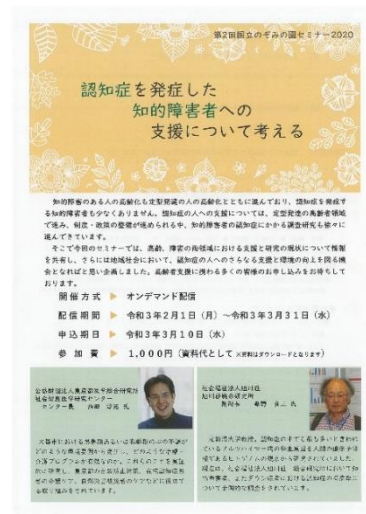
国立のぞみの園ホームページ <https://www.nozomi.go.jp/>

【問合せ】

国立のぞみの園事業企画部研修・養成課 担当：木村、長井

TEL 027-320-1357

MAIL nozomi-seminar-01@nozomi.go.jp



■ リレーずいそう 第90回

【オアシス：荒井千恵】

「私が好きな旅のこと」

旅行が好きです。目的地までの旅程をあれやこれや考えること自体が好きです。2011年と2012年にフィジーという国へ行くことができました。フィジーへは成田空港から直行便の運行もありますが、航空運賃を安くするため、LCC(ローコストキャリア)という類の格安の航空会社のHPで直接チケットを手配しました。LCCだと、運賃が出発日や席の位置によって値段がバラバラで、預け荷物、機内食の有無などオプションも自由に選択できるため、航空運賃を安くすることが可能です。フィジーへはオーストラリアから沢山フライトがあるので、行きは成田空港からオーストラリアのゴールドコーストまでのチケットを手配しゴールドコーストで数泊。帰りはオーストラリアのブリスベンからのチケットを手配し、今度はオーストラリアで以前から行って見たかったバイロンベイという町の安宿に数泊し、町のスーパーマーケットで食料を調達し自炊し、町をウロウロして過ごしました。1年後再びフィジーへ行く際は、マレーシア経由でオーストラリアのシドニーに向かい、シドニーの街をウロウロしてからフィジーへ。帰りはフィジーから香港を経由し大阪の関



西国際空港へ帰りつくという旅程でした。旅費を安くするために、LCC で安い航空券を手配しておきながら、経由地に泊まって、現地であれこれ食べたり見たり町をウロウロするので、結局直行便で行くより高い旅になり本末転倒という気もしますが、短時間で目的地に辿り着くことにお金をかけるより、目的地まで行く路程も旅の一部として楽しみたい願望が強いのだと思います。

高校生の頃、家族とフェリーで新潟の上越から北海道へ行った時以来、船の旅も好きになりました。三重県に住んでいた時は長野県に帰省する際の移動に、鳥羽から渥美半島の伊良湖までのフェリーを使ってみたり、韓国へ行った際は、行きは飛行機で、帰りは釜山から大阪港までのフェリーに乗ってみたりと、あくまで移動の手段として船に乗ることにワクワクします。フェリー船内の浴場で極端に少ない湯に浸かって夕日を眺める時間や、横になって寝る時の心地よい船の揺れの虜です。いつの日か世界各地のフェリーや珍しい乗り物を乗り継ぐ旅をしたいと密かに企んでおります。

日々の生活ではせかせかと時間に追われて過ごしてしまいがちですが、旅に出た時は、意識的に感覚に身を任せて過ごすようにしています。コロナ禍で、思うように遠出ができない状況になり、休日には近場の温泉や神社に出掛けたり、自然の中を歩きに行くようになったことで、改めてより良い日常を過ごすために、思考を休め自分の五感を大切にす非日常という OFF の時間が自分には必要なのだと思うようになりました。まだまだ先行きが見えない状況下ではありますが、遠くに行かずとも非日常感を味わう時間を持つことで、当たり前前の景色や日常のリズムの大切さに気付くことを忘れずいたいと思います。

来月は、オアシス茅野さんにバトンタッチします。

■ 1月の日程（自立支援協議会、オアシス）

1月25日（月） 13：30 発達障がいデイケア

このオアシス通信は就労移行支援事業所SAKURA岡谷センターの利用者様が研修の一環として作成しています



■ オアシスたいむ 83 『本年もよろしくお願ひいたします。』



今年は初詣には行けませんでした、富士山に手を合わせました。穏やかな年になりますように…。